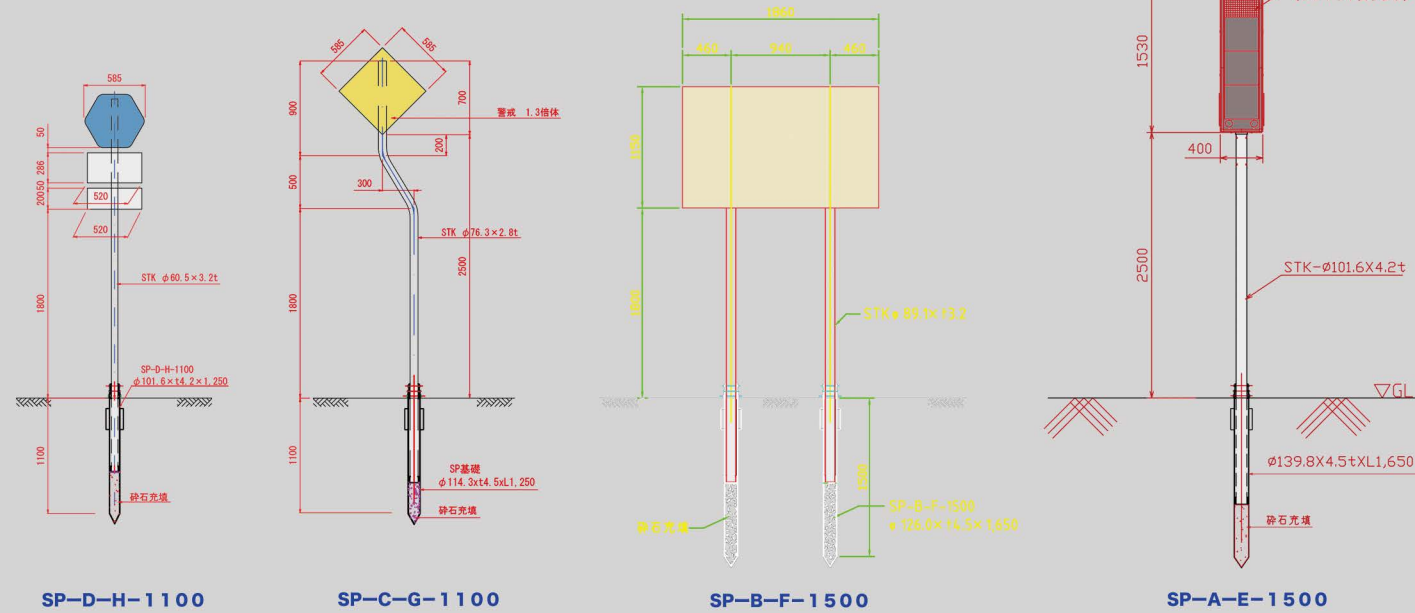


施工例

道路反射鏡・警戒・規制・指示など各種道路標識をはじめとし小型看板、案内板、電光掲示板等、単柱・複柱式各種構造物に対応します。

※脱着式SP基礎は、支柱径φ60.5～φ101.6mmの小型構造物に対応します。
上部構造物支柱径がそれ以上の場合でも埋入式などで対応可能です。
その場合は、上部構造物の仕様に合わせSP基礎の設計をいたします。



ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の基本的な特性や性能を説明するためのものであり、『規格』の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。
本資料に記載されている情報の誤った、または不適切な使用などによって生じたいかなる損害につきましては弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。また、これらの仕様・情報は改良等に伴う仕様変更のため予告なしに変更される場合がございますので、最新の情報に関しては直接お問い合わせのうえご確認ください。
本資料に記載された内容の無断転載や複製は、ご遠慮させていただきます。

<この製品に関するお問い合わせ>

G X 株式会社

GX Co.,Ltd.

🏠 www.gx1975.co.jp

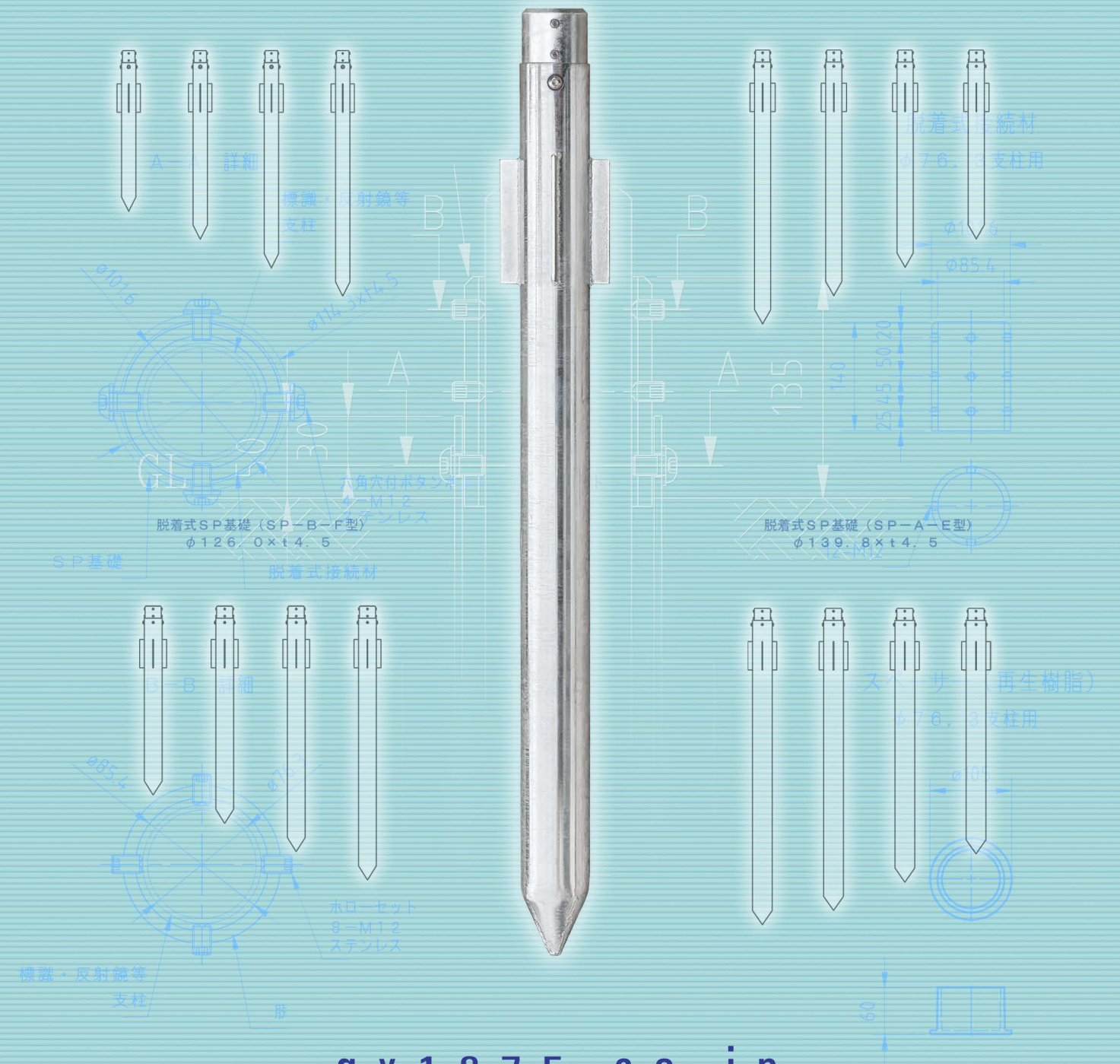
〒440-0091 愛知県豊橋市下五井町青木31
TEL:0532-52-4577 FAX:0532-54-4931



脱着式SP基礎

脱着式SP基礎 (SP-D-H型)
φ101.6×t4.2

脱着式SP基礎 (SP-C-G型)
φ114.3×t4.5



gx1975.co.jp

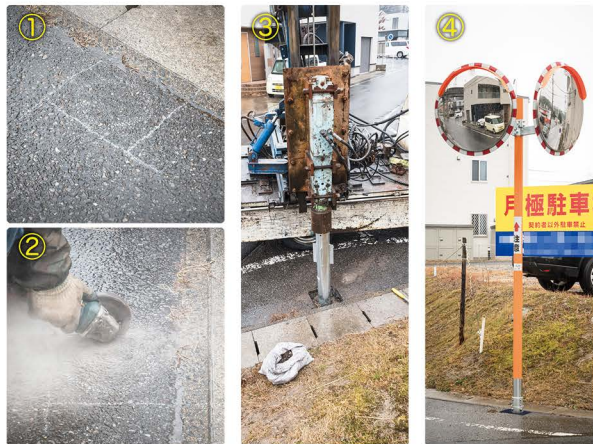
工期を劇的に短縮し、コンクリートを使わず環境負荷低減に配慮した

着脱式SP基礎

**国交省やNEXCOをはじめ46都道府県で納入実績があり、
20年以上、累計30,000基を超える実績を積み重ねてきました。**

施工性の劇的な改善

機械で直接基礎を打ち込む為、掘削の必要がなく基本的に建設発生土がでません。基礎設置から建柱後の養生が必要なく一気に上部構造物の取り付けまで完了でき、工期の大幅な短縮が可能となりトータルコストの削減を実現します。



施工手順

- ① 09:35 施工前。設置箇所にマーキングをしたところ。(埋設物調査は事前に済ませてください。)
- ② 09:36 マーキング箇所にディスクグラインダー等で切り込みを入れた後、舗装を取り除きます。
- ③ 09:48 打ち込み機械でSP基礎を打ち込みます。
- ④ 10:22 支柱建柱後はレベルを取りながらボルトで締め付けミラーの角度調整をし舗装の補修をして施工完了です。



舗装への負荷を低減し狭い場所にも柔軟に対応

SP基礎の種類により異なりますが約15～20cm四方の舗装を取り除き、そこへ直接SP基礎を打ち込むため、建設発生土が抑えられ施工後の路面復旧も容易です。また従来型の基礎での設置が困難な狭い場所にも柔軟に対応可能。



メンテナンス・リサイクルも容易

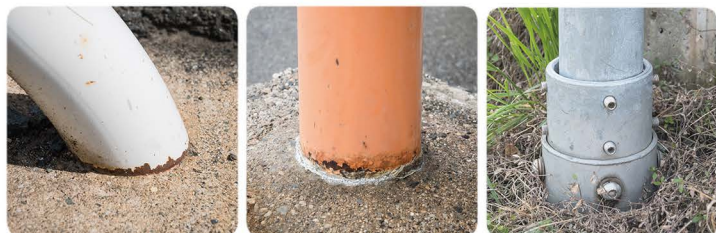
万が一車両等の接触により上部構造物が損傷を受けた場合でも、多くの場合基礎部分をそのまま再利用でき現場復旧も容易です。また、基礎ごと撤去が必要な場合でも再生資源としてリサイクル処理できます。

高い防食性

防錆処理はJIS H 8641 溶融亜鉛めっき HDZT 77 過酷な腐食環境下で使用される鋼材・鋼製品及び鋳鍛造品類となっており高い耐久性を有しています。

CO₂の排出削減

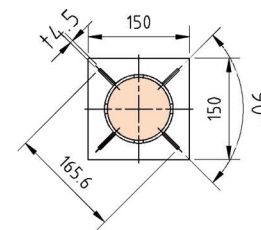
作業効率の大幅な改善による施工時間の短縮により、作業用機械の稼働時間を減らし燃料消費を抑えCO₂を削減。



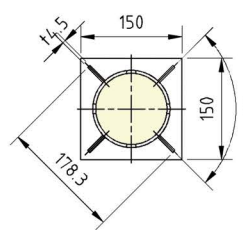
着脱式SP基礎では4方向×2段、合計8本のボルト(右図B-B参照)で支柱を固定します。既存の基礎で施工後、長期の時間経過で発生が見られる地際に沿って発生する特有の腐食は起こりにくくなります。

着脱式SP基礎は上部構造物支柱径により4タイプ

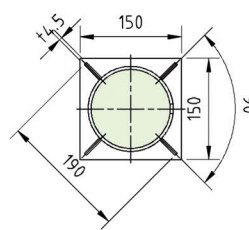
SP-D-H
支柱径φ60.5用



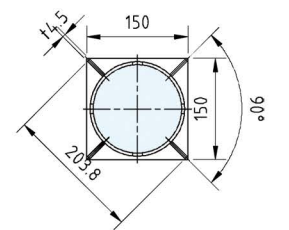
SP-C-G
支柱径 $\phi 76.3$ 用



SP-B-F
支柱径φ89.1用



SP-A-E
支柱径φ101.6用

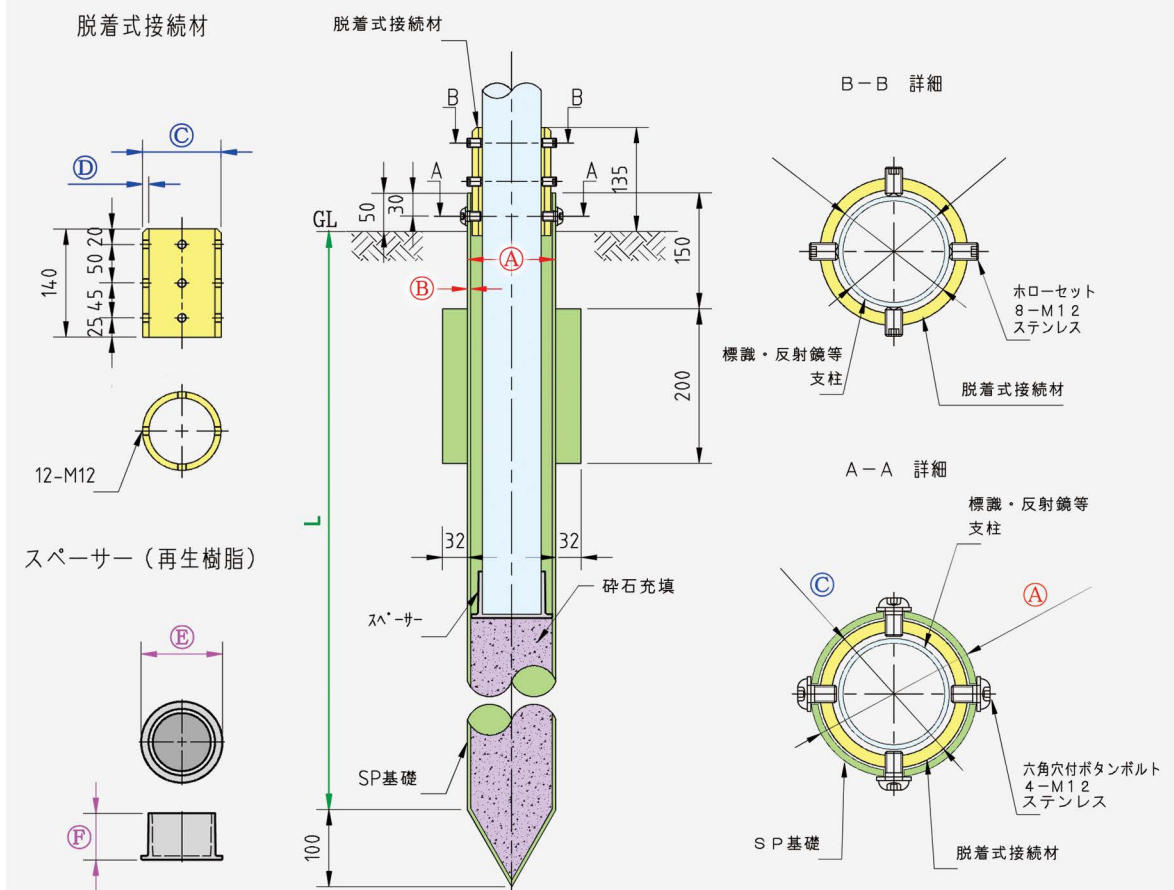


SP基礎仕様材料明細（単位：mm）

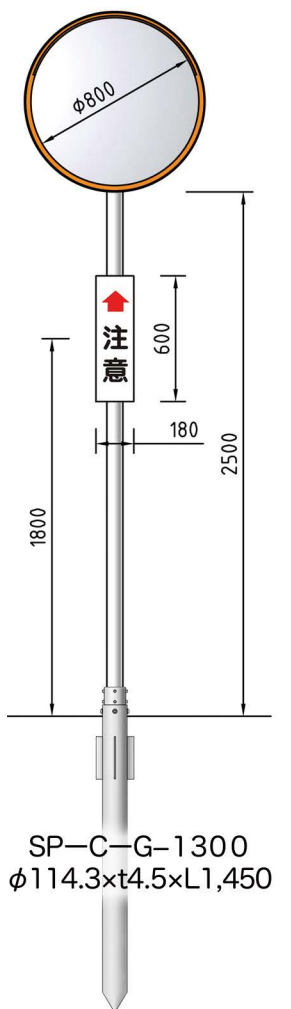
上部構造物支柱径	φ60.5	φ76.3	φ89.1	φ101.6
	▽	▽	▽	▽
SP	D-H	C-G	B-F	A-E
SP基礎本体 Ⓐ×Ⓑ	φ101.6 × t4.2	φ114.3 × t4.5	φ126.0 × t4.5	φ139.8 × t4.5
脱着式接続材 Ⓒ×Ⓓ	φ89.1 × t7.6	φ101.6 × t8.1	φ114.3 × t8.6	φ127.0 × t10.0
スペーサー Ⓔ×Ⓕ	φ93.0 × 55.0	φ105.0 × 60.0	φ117.0 × 65.0	φ130.0 × 70.0

※)基礎は上部構造物支柱径によって該当する基礎径が定まっていますのでご注意ください。
 上記4タイプの支柱径以外にも対応可能ですのでホームページ・お電話・FAX等で先ずはご相談ください。
 SP基礎の選定にあたって適用される設計風速は40m/sec.参考図書は以下の通りです。
 道路標識設置基準・同解説、道路反射鏡設置指針、道路反射鏡/道路標識の両ハンドブック等です。

外形図 (単位: mm)



$\phi 800$ —面
 $\phi 76.3$



SP-C-G-1300
 $\phi 114.3 \times t 4.5 \times L 1,450$